

京橋映画小劇場 No. 36 ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2

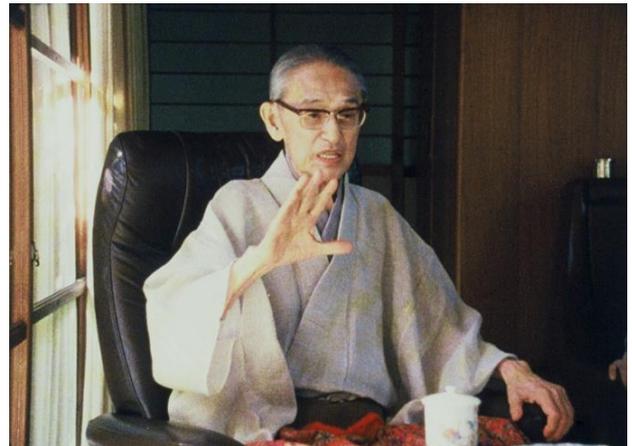
## 「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」6部作上映決定！

平素よりお世話になっております。

昨年夏に開催した「京橋映画小劇場 No. 34 ドキュメンタリー作家 羽田澄子」に続き、フィルムセンターでは、11月9日（木）より19日（日）まで、羽田澄子監督特集の第2弾を開催します。その中で、羽田監督が名優・十三世片岡仁左衛門（1904-1994）の晩年をとらえた代表的ドキュメンタリー『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』6部作（1992-94）を上映することが決定いたしました。



『歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 中巻』



『歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻』

私財を投じた「仁左衛門歌舞伎」の開催や上方若手役者の勉強会「若鮎の会」主宰など、戦前から晩年に至るまで上方歌舞伎を支え続けた十三世片岡仁左衛門は、とりわけ「廓文章」の伊左衛門や「菅原伝授手習鑑」の菅丞相の役など、齢を重ねるごとに芸を深めていき、誰もが名優と認める存在に上りつめます。そんな仁左衛門と『歌舞伎の魅力 菅丞相 片岡仁左衛門 一義太夫狂言の演技』（1982）の撮影で出会い、その人柄や芸の魅力に惹かれた羽田監督が、その姿を何とか映像で残したいという思いをもって、84歳から、亡くなる直前の90歳までの仁左衛門をとらえたのが、この6部作です。準備、稽古や本舞台の映像のみならず、芸について語る姿、また家族と共に過ごす日常風景に至るまで、仁左衛門の生きる時間をゆったりととらえた本6部作は、俳優をとらえたドキュメンタリーとして突出した作品であり、また、羽田監督のフィルモグラフィー全体においても特別な位置を占めています。

今回フィルムセンターでは、この6部作のニュープリントを作製し、11月9日（木）から開催予定の「京橋映画小劇場 No. 36 ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」において上映いたします。その他のプログラムについては、決まり次第、リリースにてご案内いたします。今後の周知へのご協力をお願いいたします。

### 開催概要

企画名：京橋映画小劇場 No. 36 ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2

会期：2017年11月9日（木）－19日（日）＊月曜休館

【『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』6部作上映日】 11月11日（土）、12日（日）、18日（土）、19日（日）

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホールならびに大ホール